

同時資料配布先：

学研都市記者クラブ

2022年5月2日

経済産業省 産業技術環境局 地球環境対策室  
公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

## IPCC シンポジウム開催のご案内 「IPCC 第6次評価報告書から気候変動緩和策の最新知見を学ぶ」

気候変動に関する最新の科学的知見を提供する役割を担う「気候変動に関する政府間パネル (IPCC)」は、今年4月に、気候変動の緩和に関する最新レポートとして、第6次評価報告書第三作業部会 (WG3) 報告書を公表しました。この報告書は、昨年8月の第一作業部会 (WG1) 報告書 (気候変動の自然科学的根拠)、今年2月の第二作業部会 (WG2) 報告書 (気候変動の影響・適応・脆弱性) に続いて公表された評価報告書であり、気候変動の緩和について、最新の科学的知見に基づき包括的な評価が行われています。今回、この第6次評価報告書 第三作業部会報告書の概要、および、気候変動の緩和に関する最新の知見を学ぶことを目的として、IPCC シンポジウムを開催します。

本シンポジウムでは、この報告書の全体取り纏めを担当された IPCC 第三作業部会の共同議長の Jim Skea 博士を英国からお招きして、この評価報告書に込められた市民社会へのメッセージと気候変動の未来についてご講演いただきます。また、この報告書の作成に関わられた我が国の執筆者の中から、秋元圭吾氏 (公益財団法人 地球環境産業技術研究機構、政策決定者向け要約・第17章「持続可能な開発の文脈での遷移加速」の主執筆者)、森田香菜子氏 (国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所、第15章「投資とファイナンス」の主執筆者) にご講演いただくとともに、エネルギー、産業、金融の各分野から有識者の方々をお招きして、「IPCC 第6次評価報告書に基づいて、グローバルな緩和に短・中長期的にどう取り組むか」と題したパネルディスカッションを行います。

IPCC の評価報告書や気候変動の緩和策にご関心をお持ちの多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

### 1. 日程等

日時： 2022年5月19日 (木) 13時～17時10分 (受付開始：12時30分)

会場： イイノホール、および、オンライン

(東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング4階～6階)

主催： 経済産業省

共催： 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 (RITE)

参加費： 無料

言語： 日本語、英語 (同時通訳あり)

## 2. プログラム

開会・主催者挨拶 木原晋一（経済産業省 大臣官房審議官（環境問題担当））  
共催者挨拶 山地憲治（公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 理事長）

基調講演 「IPCC's Mitigation Assessment: Conclusions from AR6 and Future Challenges」

Jim Skea（IPCC 第三作業部会 共同議長）

講演 「IPCC WG3 報告書の補足的な見方と直近のエネルギー情勢からの視点」  
秋元圭吾（公益財団法人 地球環境産業技術研究機構  
システム研究グループリーダー・主席研究員）

講演 「1.5℃目標達成に向けた社会システム変革の必要性」  
森田香菜子（国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所  
生物多様性・気候変動研究拠点 気候変動研究室 主任研究員）

パネルディスカッション

テーマ：

「IPCC 第6次評価報告書に基づいて、  
グローバルな緩和に短中期的にどう取り組むか」

モデレータ：

有馬 純（東京大学 公共政策大学院 教授）

パネリスト（五十音順）：

Jim Skea（IPCC 第三作業部会 共同議長）

秋元圭吾（公益財団法人 地球環境産業技術研究機構  
システム研究グループリーダー・主席研究員）

手塚宏之（JFE スチール株式会社 専門主監（地球環境））

林 礼子（BofA 証券株式会社 取締役副社長）

森田香菜子（国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所  
生物多様性・気候変動研究拠点 気候変動研究室 主任研究員）

山下ゆかり（一般財団法人 エネルギー経済研究所 常務理事）

米川隆仁（三菱重工エンジニアリング株式会社 脱炭素事業推進室 次長  
兼 技術開発グループ グループ長）

閉会挨拶 本庄孝志（公益財団法人 地球環境技術研究機構 専務理事）

## 3. 参加申し込み

RITE ホームページ <https://www.rite.or.jp/news/events/2022/05/ipcc.html> より申し込み下さい。

参加費は無料ですが、定員になり次第締め切らせて頂きますので予めご了承ください。

#### 4. プレス登録

取材を希望される報道関係者の方も、事前に参加申込み下さいますようお願いいたします。  
やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参下さい。

#### 5. その他

当日はクールビズにて実施させていただきますので、軽装でお越し下さいますようお願いいたします。

お問い合わせ先：

- シンポジウムの内容・参加登録に関するお問い合わせ先  
公益財団法人地球環境産業技術研究機構 企画調査グループ 出口、鈴木、小林  
TEL：0774-75-2302 E-mail：symposium@rite.or.jp
- 本プレス発表に関するお問い合わせ先  
公益財団法人地球環境産業技術研究機構 企画調査グループ 樋口、辰巳  
TEL：0774-75-2301 E-mail：pub\_rite@rite.or.jp